

一般社団法人日本精神保健看護学会 2020 年度定時学会総会議事録

日時:2020 年 10 月 16 日(金)～2020 年 11 月 16 日(月)

場所:上記の期間、学会 HP 上で資料を共有し、会員から意見を募った。

書記:岡本 典子 第 4 期 総務委員会委員 (常葉大学)

正会員数:1,405 名

今年度の学会総会は、covid-19 の感染拡大防止の観点から対面での開催は中止とした。定款 43 条において「学会総会は、本会運営上の重要事項について、理事会に対し意見を具申する」という目的が定められているため、下記の報告事項を HP 上で公開し会員からの意見を募った。会員からの質問や意見はなかった

また、定款第 47 条と定款施行細則第 8 条に基づき、議事録を作成した。

報告事項

- (1) 2019 年度決算報告
- (2) 2019 年度監査報告
- (3) 公告方法の変更に関する定款の改正
- (4) 2019 年度事業報告
- (5) 2020 年度事業計画
- (6) 2020 年度予算,
- (7) 日本精神保健看護学会第 32 回学術集会会長の選出
- (8) 第 11 回(2020 年度)日本精神保健看護学会研究助成金贈呈
- (9) 第 31 回学術集会会長挨拶およびご案内
- (10) 厚生労働省からの受託事業の実施について

一般社団法人 日本精神保健看護学会

2020 年度 定時学会総会

(資料)

目次

2019 年度 決算報告書（資料 1）	1
2019 年度 監査報告（資料 2）	8
公告方法の変更に関する定款の改正（資料 3）	9
2019 年度 事業報告（資料 4）	10
2020 年度 事業計画（資料 5）	15
2020 年度 予算（資料 6）	18
日本精神保健看護学会第 32 回学術集会会長の選出（資料 7）	19
第 11 回(2020 年度)日本精神保健看護学会研究助成金贈呈（資料 8）	20
第 31 回学術集会会長挨拶およびご案内（資料 9）	21
厚生労働省からの受託事業の実施について（資料 10）	23

決算報告書

自 2019年 4月 1日
至 2020年 3月31日

一般社団法人 日本精神保健看護学会

貸借対照表

2020年 3月31日現在

一般社団法人 日本精神保健看護学会

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	24,303,833	19,870,309	4,433,524
前払金	3,029,720	3,568,300	△ 538,580
流動資産合計	27,333,553	23,438,609	3,894,944
資産合計	27,333,553	23,438,609	3,894,944
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	445,611	1,712,140	△ 1,266,529
前受会費	176,000	56,000	120,000
預り金	0	31,994	△ 31,994
未払法人税等	70,000	70,000	0
流動負債合計	691,611	1,870,134	△ 1,178,523
負債合計	691,611	1,870,134	△ 1,178,523
III 正味財産の部			
1. 一般正味財産	26,641,942	21,568,475	5,073,467
正味財産合計	26,641,942	21,568,475	5,073,467
負債及び正味財産合計	27,333,553	23,438,609	3,894,944

正味財産増減計算書

2019年 4月 1日から2020年 3月31日まで

一般社団法人 日本精神保健看護学会

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	14,879,000	15,428,000	△ 549,000
正会員	14,829,000	15,378,000	△ 549,000
賛助会員	50,000	50,000	0
事業収益	10,914,795	8,245,810	2,668,985
学会誌等の発行収益	465,379	390,798	74,581
学術集会の開催収益	10,398,416	7,672,012	2,726,404
研修会等の開催収益	51,000	183,000	△ 132,000
雑収益	3,178	3,973	△ 795
受取利息	98	85	13
著作権料	3,080	3,888	△ 808
経常収益計	25,796,973	23,677,783	2,119,190
(2) 経常費用			
事業費	15,382,846	14,174,885	1,207,961
学術集会の開催費	10,476,627	8,181,944	2,294,683
臨時雇賃金	0	78,900	△ 78,900
会場費	36,640	153,830	△ 117,190
会議費	69,427	43,934	25,493
旅費交通費	261,484	737,554	△ 476,070
通信運搬費	559,751	630,232	△ 70,481
消耗品費	0	10,692	△ 10,692
印刷製本費	2,338,082	2,424,203	△ 86,121
諸謝金	11,137	328,542	△ 317,405
委託費	1,129,698	1,166,054	△ 36,356
研究助成金	300,000	219,000	81,000
諸会費	200,000	200,000	0
管理費	5,270,660	5,097,566	173,094
臨時雇賃金	14,000	59,368	△ 45,368
会議費	443,592	474,630	△ 31,038
旅費交通費	1,215,984	1,162,132	53,852
通信運搬費	77,027	52,786	24,241
消耗品費	167,104	136,575	30,529
印刷製本費	58,240	59,497	△ 1,257
諸謝金	0	16,705	△ 16,705
租税公課	13,990	0	13,990
委託費	3,127,110	3,118,984	8,126
諸会費	80,000	0	80,000
雑費	73,613	16,889	56,724
経常費用計	20,653,506	19,272,451	1,381,055
評価損益等調整前当期経常増減額	5,143,467	4,405,332	738,135
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	5,143,467	4,405,332	738,135
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	5,143,467	4,405,332	738,135
法人税、住民税及び事業税	70,000	70,000	0
当期一般正味財産増減額	5,073,467	4,335,332	738,135
一般正味財産期首残高	21,568,475	17,233,143	4,335,332
一般正味財産期末残高	26,641,942	21,568,475	5,073,467
II 正味財産期末残高	26,641,942	21,568,475	5,073,467

予算対比正味財産増減計算書

2019年 4月 1日から2020年 3月31日まで

一般社団法人 日本精神保健看護学会

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	13,646,000	14,879,000	△ 1,233,000
正会員	13,596,000	14,829,000	△ 1,233,000
賛助会員	50,000	50,000	0
事業収益	10,640,000	10,914,795	△ 274,795
学会誌等の発行収益	300,000	465,379	△ 165,379
学術集会の開催収益	10,190,000	10,398,416	△ 208,416
研修会等の開催収益	150,000	51,000	99,000
雑収益	315,000	3,178	311,822
受取利息	5,000	98	4,902
著作権料	310,000	3,080	306,920
経常収益計	24,601,000	25,796,973	△ 1,195,973
(2) 経常費用			
事業費	18,570,500	15,382,846	3,187,654
学術集会の開催費	11,190,000	10,476,627	713,373
臨時雇賃金	38,000	0	38,000
会場費	20,000	36,640	△ 16,640
会議費	221,000	69,427	151,573
旅費交通費	2,186,000	261,484	1,924,516
通信運搬費	465,000	559,751	△ 94,751
消耗品費	50,000	0	50,000
印刷製本費	2,781,000	2,338,082	442,918
諸謝金	165,000	11,137	153,863
委託費	953,500	1,129,698	△ 176,198
研究助成金	300,000	300,000	0
諸会費	200,000	200,000	0
雑費	1,000	0	1,000
管理費	7,218,500	5,270,660	1,947,840
臨時雇賃金	334,000	14,000	320,000
会議費	387,500	443,592	△ 56,092
旅費交通費	1,940,000	1,215,984	724,016
通信運搬費	162,000	77,027	84,973
消耗品費	235,000	167,104	67,896
印刷製本費	230,000	58,240	171,760
租税公課	70,000	13,990	56,010
委託費	3,720,000	3,127,110	592,890
諸会費	80,000	80,000	0
雑費	60,000	73,613	△ 13,613
経常費用計	25,789,000	20,653,506	5,135,494
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 1,188,000	5,143,467	△ 6,331,467
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 1,188,000	5,143,467	△ 6,331,467
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 1,188,000	5,143,467	△ 6,331,467
法人税、住民税及び事業税	170,000	70,000	100,000
当期一般正味財産増減額	△ 1,358,000	5,073,467	△ 6,431,467
一般正味財産期首残高	21,568,475	21,568,475	0
一般正味財産期末残高	20,210,475	26,641,942	△ 6,431,467
II 正味財産期末残高	20,210,475	26,641,942	△ 6,431,467

財産目録

2020年 3月31日現在

一般社団法人 日本精神保健看護学会

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金預金	普通預金		21,046,769
		ゆうちょ新口座		21,046,769
		郵便振替口座		3,257,064
	前払金	法人口座	第30回学術集会	3,257,064
流動資産合計				3,029,720
資産合計				27,333,553
(流動負債)	未払金	国際文献社 役員立替分	業務委託費等	445,611
			交通費等	442,181
	前受会費	東京都主税局	翌事業年度以降会費	3,430
	未払法人税等		住民税等	176,000
流動負債合計				70,000
負債合計				691,611
正味財産				26,641,942

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 消費税等の会計処理は税込方式を採用している。

該当事項なし

附属明細書

予算対比正味財産増減計算書

2019年 4月 1日から2020年 3月31日まで

一般社団法人 日本精神保健看護学会

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	備 考
一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	13,646,000	14,879,000	
正会員	13,596,000	14,829,000	当年度13,949,000円、過年度880,000円(納入率90.3%)
賛助会員	50,000	50,000	当年度50,000円(納入率100%)
事業収益	10,640,000	10,914,795	
学会誌等の発行収益	300,000	465,379	BN販売25,001円、定期購読440,378円
学会集の開催収益	10,190,000	10,398,416	第29回学会集(名古屋市立大学)
研修会等の開催収益	150,000	51,000	研修会参加費(実践の質向上)
雑収益	315,000	3,178	
受取利息	5,000	98	預金利息
著作権料	310,000	3,080	著作権料(医学中央雑誌刊行会)
経常収益計	24,601,000	25,796,973	
(2) 経常費用			
事業費	18,570,500	15,382,846	
学会集の開催費	11,190,000	10,476,627	収支報告より
臨時雇賃金	38,000	0	
会場費	20,000	36,640	政策・学術連携、広報、30周年記念事業
会議費	221,000	69,427	研究活動推進、政策・学術連携、広報、災害対策委 30周年記念事業
旅費交通費	2,186,000	261,484	編集、研究活動推進、実践の質向上、政策・学術連携、 社会貢献、広報、災害対策、30周年記念事業
通信運搬費	465,000	559,751	編集、実践の質向上、政策・学術連携、広報
消耗品費	50,000	0	
印刷製本費	2,781,000	2,338,082	NL3号、学会誌2号、その他事業費関連印刷費
諸謝金	165,000	11,137	研修会講師謝金(実践の質向上)
委託費	953,500	1,129,698	編集委託費等(国際文献社) 807,390円 Web関連委託費(シロシベ) 216,576円 テープ起こし(スキルズ) 105,732円
研究助成金	300,000	300,000	1件(高谷新様)
諸会費	200,000	200,000	看護系学会等社会保険連合150,000円 精神保健従事者団体懇談会50,000円
雑費	1,000	0	
管理費	7,218,500	5,270,660	
臨時雇賃金	334,000	14,000	アルバイト代(総務)
会議費	387,500	443,592	理事会・代議員会等開催時会場費、弁当・茶菓子代
旅費交通費	1,940,000	1,215,984	理事会・総務会・代議員会等 1,213,974円 監査 2,010円
通信運搬費	162,000	77,027	国際文献社 61,561円 理事会・総務会・代議員会等 15,466円
消耗品費	235,000	167,104	国際文献社 156,685円 理事会・総務会・代議員会等 10,419円
印刷製本費	230,000	58,240	国際文献社 9,791円 理事会・総務会・代議員会等 48,449円
租税公課	70,000	13,990	役員登記に係る書類取得手数料及び印紙税
委託費	3,720,000	3,127,110	国際文献社2,812,930円 アクセライト263,900円
諸会費	80,000	80,000	弁護士・司法書士 50,280円 日本看護系学会協議会
雑費	60,000	73,613	貸金庫代(2年分) 43,164円 振込手数料 20,449円 供花代 10,000円
経常費用計	25,789,000	20,653,506	
評価損益等調整前当期経常増減額	1,188,000	5,143,467	
評価損益等計	0	0	
当期経常増減額	1,188,000	5,143,467	
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	
当期経常外増減額	0	0	
税引前当期一般正味財産増減額	1,188,000	5,143,467	
法人税、住民税及び事業税	170,000	70,000	
当期一般正味財産増減額	1,358,000	5,073,467	
一般正味財産期首残高	21,568,475	21,568,475	
一般正味財産期末残高	20,210,475	26,641,942	
正味財産期末残高	20,210,475	26,641,942	

監 査 報 告

2020年4月30日

一般社団法人日本精神保健看護学会
理事長 萱間 真美 殿

一般社団法人日本精神保健看護学会
監事 弓喜田 恵子
監事 田上 美千佳

私たち監事は、2019年4月1日から2020年3月31日までの第5期事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、主要な事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る財務諸表等（貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録、財務諸表に対する注記）及びその附属明細書について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 財務諸表等及びその附属明細書の監査結果

財務諸表等及びその附属明細書は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

公告方法の変更に関する定款の改正について

現状と課題：

本会では、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律で求められている賃借対照表の公告を、代議員会資料の一部として学会ホームページ上で公開する方法で対応している。

しかし、定款第 58 条において本会の公告の方法を「本会の公告は、主たる事務所の公衆の見やすい場所に掲示する方法により行う。」と定めており、実際の運用との間に齟齬が生じている。

対応：

本会定款第 58 条(公告の方法)を下記の通り改正する。

「本会の公告は、電子公告により行う。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、官報に掲載する方法により行う。」

一般社団法人日本精神保健看護学会 定款(案)

改正後	改正前
第 11 章 公告の方法 (公告の方法) 第 58 条 本会の公告は、 <u>電子公告により行う。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、官報に掲載する方法により行う。</u>	第 11 章 公告の方法 (公告の方法) 第 58 条 本会の公告は、 <u>主たる事務所の公衆の見やすい場所に掲示する方法により行う。</u>

2019年度 事業報告

2019年度の事業報告は、2019年4月1日～2020年3月31日の活動内容とする。

1. 理事会・代議員会・定時学会総会の開催

2019年4月から2020年3月まで、以下の日程で6回の理事会と1回の定時代議員会を開催し、学術集会の企画、各委員会活動、入会審査、今後の学会活動等についての検討を行った。また、6月の学術集会時に定時学会総会を開催し、本会運営上の重要事項について正会員と共有するとともに、理事会に対する意見を募った。

1) 理事会の開催

〔第1回理事会〕

日時：2019年5月12日（日）13時～17時

場所：武蔵野大学 三鷹サテライト教室 7階 大教室

〔第2回理事会〕

日時：2019年6月7日（金）14時30分～16時40分

場所：ウインクあいち（愛知県産業労働センター）1202

〔第3回理事会〕

日時：2019年6月7日（金）18時5分～45分

場所：愛知県立大学サテライトキャンパス（愛知県産業労働センター「ウインクあいち」15階）

〔第4回理事会〕

日時：2019年9月8日（日）13時～17時

場所：聖路加国際大学 大村進・美枝子記念 聖路加臨床学術センター(CCA)3303

〔第5回理事会〕

日時：2019年10月20日（日）13時～17時

場所：聖路加国際大学 本館 6階 講義室B

〔第6回理事会〕

日時：2020年1月4日（日）13時～17時

場所：聖路加国際大学 本館 6階 講義室B

〔第7回理事会〕

日時：2020年3月23日

場所：書面による決議

2) 代議員会の開催

日時：2019年6月7日（金）17時～18時

場所：ウインクあいち（愛知県産業労働センター）1202

3) 定時学会総会の開催

日時：2019年6月8日（土）16時10分～17時10分

場所：ウインクあいち（愛知県産業労働センター）大ホール

2. 学術集会の企画

1) 第29回日本精神保健看護学会学術集会・総会の開催

テーマ：「当事者・家族・支援者を結ぶ精神保健看護の理論と実践—私たちは声をきけているか?—」

期間：2019年6月8日（土）・9日（日）

場所：愛知県産業労働センター「ウインクあいち」（名古屋市）

学術集会会長：香月 富士日（名古屋市立大学大学院看護学研究科 教授）

合計 996名

事前参加登録：会員376名 非会員187名 学生61名 計 624名

当日参加登録：会員185名 非会員105名 学生8名 当事者・家族74名 計 372名

2) 第29回日本精神保健看護学会学術集会・総会 理事会企画の開催

(1) 理事会企画①

テーマ：「精神疾患と糖尿病をあわせもつ人の看護の現状と課題—今後の診療報酬要望に向けて—」

日時： 2019年6月8日(土) 13:00-14:30

場所： 愛知県産業労働センター「ウィンクあいち」(名古屋市)

座長： 遠藤 淑美、畠山 卓也

話題提供者： 田中 晴佳、水野 美華、西池 絵衣子

(2) 理事会企画②

テーマ：「身体拘束を行わない看護実践のために本会ができること」

日時： 2019年6月9日(日) 10:00-11:30

場所： 愛知県産業労働センター「ウィンクあいち」(名古屋市)

座長： 永井 優子、末安 民生

話題提供者： 正木 治恵、阿保 順子

3) 第30回日本精神保健看護学会学術集会・総会の開催準備

テーマ：「地域移行支援の“embodiment(具現化)”—政策と実践の中に哲学を—」

期間： 2020年6月13日(土)・14日(日)

場所： アクロス福岡(福岡市)

学術集會会長：白石 裕子(国際医療福祉大学福岡看護学部 教授)

4) 第30回日本精神保健看護学会学術集会・総会 理事会企画の開催準備

(1) 理事会企画①

テーマ：「～30周年記念シンポジウム～精神看護を語ろう 精神看護の未来を見据えて」

日時： 2020年6月13日(土) 15:00～16:30(予定)

場所： アクロス福岡(福岡市)

座長： 萱間 真美、寺岡 征太郎

話題提供者：阿保 順子、田中 美恵子、安保 寛明

(2) 理事会企画②

テーマ：「看護基礎教育指定規則改正—精神科医療にも対応した地域包括ケアの教育に向けて—」

日時： 2020年6月14日(日) 9:20-10:50(予定)

場所： アクロス福岡(福岡市)

座長： 甘佐 京子

話題提供者： 厚生労働省医政局看護課担当者(予定)

3) 第31回日本精神保健看護学会学術集会・総会の開催準備

学術集會会長：安保 寛明(山形県立保健医療大学 教授)

テーマ：「価値に基づく精神保健における共同創造—持続可能な地域づくりと人への支援—」

日時： 2021年6月5日(土)・6日(日)

場所： やまぎん県民ホール、山形テルサ(山形市)(予定)

3. 学会誌の編集・発行

1) 学会誌第28巻1号、2号発刊

2) 学会誌第29巻1号の発刊準備

3) J-STAGEへの学術誌第27巻1号2号、第28巻1号2号の掲載および掲載準備

4) 編集委員会の開催 2020年2月29日開催

5) 査読システムの見直し

6) 学会誌の電子化準備

4. 研究助成活動

1) 第11回(2020年度)研究助成

募集、応募件数2件に対する審査(決定1件)、結果通知等の運営、実施

研究課題名: うつ病者における自殺再企図に至る経験

研究代表者: 安達 寛人

共同研究者: 長谷川 雅美

研究助成額: 30万円

2) 助成した研究の学会発表、論文投稿の推進

3) 研究に関する表彰制度の検討

5. 教育の質向上事業

1) 精神看護教育(基礎教育・大学院教育等)に関する動向の把握

会員に向けたwebアンケート調査の実施 ※準備中

2) 精神看護教育(基礎教育・大学院教育等)の課題の整理

6. 実践の質向上事業

①第1回研修会の実施

テーマ: 「コミュニケーションを深める技を磨く! -実践力向上のためのスキル学習-

講師: 北野進氏(東京都立松沢病院)

日時: 2019年11月24日(日) 13時~16時

場所: 東京都立松沢病院 本館2階大会議室

参加人数: 17名(内 日本精神保健看護学会員 約17名)

②第2回研修会の企画

テーマ: 「認知療法・認知行動療法」研修会

講師: 大野裕氏(一般社団法人 認知行動療法研修開発センター 理事長) 他

日時: 2020年5月16日(土) 10時~17時30分、5月17日(日) 10時~15時50分

場所: 東京都立松沢病院 本館2階大会議室

参加予定人数: 65名(内 日本精神保健看護学会員 約38名)

2) 実践の質を向上させていくための方略の検討

7. 政策・学術連携に関する活動

1) 診療報酬の評価に向けた研究の計画について検討

・「認定・専門看護師による看護外来について」検討中

2) 診療報酬の評価に向けた日本糖尿病教育・看護学会等との連携

令和2年2月1日に会議を開催し、今後について検討した

2) 平成32年度診療報酬改定へ向けた活動準備、看護系学会等社会保険連合への参加

令和2年2月17日 開催につきましては出席できなかった

3) 日本総合病院精神医学会主催精神科リエゾンチームの講習会への後援

4) 精神保健従事者団体懇談会への参加

9月、11月、1月、3月開催 の4回に出席

5) 学術連携委員会の開催

令和元年11月24日

令和元年12月15日

令和2年3月7日 3回開催

6) 政策提言に向けた他学会及び団体との今後の連携の検討

8. 広報活動

1) ニュースレター発行

(1) ニュースレターの発行(第85号、86号、87号)

印刷物の郵送は第85号で休止し、第86号より電子媒体での配信に変更

2) インターネットによる広報活動

(1) 学会ホームページの更新

- (2) Facebook, Twitter (フォロワー数 330, 2020年2月時点) による広報活動
- 3) 広報・情報委員会の開催 1回 (2019年11月8日) その他、適宜メールで意見交換
- 4) その他
 - (1) 学術集会広報デスクの設置、関連分社出版社・報道関係の問い合わせ対応

9. 社会貢献活動

- 1) 精神保健看護学の社会還元
 - 非会員向けWEBコンテンツの検討 (委員会の開催時 (2019年12月21日、2020年2月12日))
- 2) 医療事故調査への協力
- 3) 精神保健看護学の知識によって社会貢献する活動の整理
 - 市民向け講座の実施に向けた検討

10. 災害対策活動

- 1) 災害対策委員会の開催 (WEB会議2回)
- 2) 「第2回世界防災フォーラム」(2019年11月9日～12日 仙台市)へ参加し、学会としての活動の方向性の検討を行った。
- 3) 大規模災害における会費減免ならびにコンサルテーション活動実施の準備を行った。
- 4) 犯罪被害者のメンタルヘルス情報、関東東北豪雨に関する水害後のこころの問題、災害下における子どものこころのケア、災害で大切な人をなくされた方への支援、行方不明者の家族など喪失の事実が明確でない「あいまいな喪失」の場合のこころのケア、に関する情報提供のためのホームページURLの貼り付けを行った。

11. 倫理・利益相反に関する事業

- 1) 利益相反指針の策定
- 2) 研究倫理審査委員会規定の策定
- 3) 学会における倫理的問題の検討、審査
- 4) 利益相反に関する検討、審査
- 5) 研究倫理審査

1 2. 30周年記念事業プロジェクト

- 1) 30周年記念プロジェクト会議の開催 1回 (2019年5月18日) テレビ会議 8回 その他、適宜メールでの意見
- 2) 30周年記念パーティの企画、準備
- 3) 30周年記念シンポジウムの企画、準備
- 4) 学会の歩み整備事業への取り組み

1 3. 総務・会計

- 1) 会員入会業務
- 2) 理事会・代議員会・学会総会の開催
- 3) 研修会情報の会員一斉メールの配信
- 4) 議事録等学会関連書類の電子化
- 5) 事務局運営および理事会運営の業務委託先の変更および委託内容の整備
- 6) 法人資料の保存についての調査
- 7) 適切な予算執行の推進・会計申し合わせ事項の整備・予算案作成
- 8) 総務委員会の開催 3回 (2019年10月20日、2020年1月4日、2020年3月14日)

1 4. その他

理事長・副理事長を中心に、理事会にて以下の検討を行った。

- 1) 諸規定・書類書式・保管の整備
 - (1) 定款の改正の検討
 - (2) 定款施行細則の検討
 - (3) 会員選考規定の検討

- (4) 災害等による会費の減免等についての申し合わせ
- (5) 自然災害等の不測の事態への対応についての申し合わせ
- (6) 名誉会員に関する申し合わせ

2) 学会の運営を行うための将来構想の具体化に向けた検討

- (1) 30周年記念事業の実施

3) 学術集会の充実に向けた取り組み

- (1) 第31回および第32回学術集会開催の検討
- (2) 第30回学術集会理事会企画の検討

4) 一般社団法人日本看護系学会協議会総会への出席

- (1) 社員総会 (2019年6月23日13時～15時50分、日本赤十字看護大学広尾キャンパス301教室)

5) 一般社団法人日本医療安全調査機構 医療事故調査・支援センターへの協力

- (1) 調査委員への就任依頼の検討
センター調査個別調査部会に部会員として3名を推薦した。

6) 調査等への対応

なし

7) 他団体の事業への名義後援

- (1) 日本精神保健福祉士協会第55回全国大会・第18回学術集会
- (2) 日本病院・地域精神医学会 第62回学会総会
- (3) 認定NPO法人地域精神保健福祉機構リカバリー全国フォーラム2019
- (4) 公益社団法人全国精神保健福祉会連合会第12回全国精神保健福祉家族大会 in 愛知
- (5) 日本「祈りと救いところ」学会第6回学術研究大会
- (6) 一般社団法人日本集団精神療法学会 第37回学術大会
- (7) ACT全国ネットワーク 第10回ACT全国研修会東京大会
- (8) SST普及協会
- (9) 日本外来臨床精神医学会 第20回学術大会
- (10) 公益社団法人全国精神保健福祉会連合会 みんなネットフォーラム2020
- (11) 一般社団法人日本精神保健福祉学会 第12回学術研究大会

15. 学会員の動向 (2020年3月31日現在)

現会員数	正会員	1,429名	名誉会員	8名	賛助会員	1社
2019年度新入会者	95名	2019年度退会者	115名			

2020年度事業計画(案)

1. 2020年度 理事会・代議員会の開催

1) 理事会の開催 4～5回、日時、場所は以下を予定している

[第1回理事会]

日時：2020年5月24日(日) 13時～17時

場所：WEB会議

[第2回理事会]

日時：2020年10月10日(土) 15時～17時

場所：WEB会議

[第3回理事会]

日時：2020年11月下旬～12月初旬

場所：書面決議

[第4回理事会]

日時：2021年2月20日(土) 15時～17時

2) 代議員会の開催1回、日時、場所は以下を予定している

日時：2020年7月

場所：書面決議

3) 定時学会総会の開催1回、日時、場所は以下を予定している。

日時：2020年8月

場所：学会ホームページを活用して実施

2. 学術集会

1) 第30回日本精神保健看護学会学術集会・総会の開催

テーマ：「地域移行支援の“embodiment(具現化)”－政策と実践の中に哲学を－」

期間：2020年8～9月

場所：WEB開催

学術集会会長：白石 裕子(国際医療福祉大学福岡看護学部 教授)

2) 第31回日本精神保健看護学会学術集会・総会の開催準備

テーマ：「精神保健の時代における共創造」

期間：2021年6月5日(土)・6日(日)

場所：やまぎん県民ホール、山形テルサ(山形県山形市)

学術集会会長：安保 寛明(山形県立保健医療大学 教授)

(WEB開催について日程と内容を検討中)

3) 第32回日本精神保健看護学会学術集会・総会の開催準備

学術集会会長：荻野 雅(武蔵野大学 看護学部看護学科 教授)

3. 第4期代議員および第5期役員候補者選出選挙の実施

(一社)日本精神保健看護学会 定款第5条および代議員・役員選出に関する規程に基づき、選挙管理委員会を立ち上げ、第4期代議員および第5期役員候補者選出選挙を行う。

4. 学会誌の編集・発行
 - 1) 学会誌の編集、査読(第 29 巻1号, 2 号発刊)
 - 2) J-STAGE 登載
 - 3) 編集委員会の開催
5. 研究助成活動
 - 1) 第 12 回(2021 年度)研究助成
募集、審査、結果通知等の運営、実施
 - 2) 助成した研究の学会発表、論文投稿の推進
 - 3) 研究に関する表彰制度の検討
6. 教育の質向上事業
 - 1) 精神看護教育(基礎教育・大学院教育等)の課題の整理
 - 2) 教育に関連した研修会の実施 1 回
 - 3) 精神看護学担当教員へのアンケートの実施
7. 実践の質向上事業
 - 1) 年 2 回の研修会の企画、開催
 - 2) 実践の質を向上させていくための方略の検討
8. 学術連携に関する活動
 - 1) 診療報酬の評価に向けた研究の計画・実施
 - 2) 診療報酬の評価に向けた日本糖尿病教育・看護学会等との連携
 - 2) 令和 3 年度診療報酬改定に向けた活動準備、看護系学会等社会保険連合への参加
 - 3) 日本総合病院精神医学会主催精神科リエゾンチームの講習会への後援
 - 4) 精神保健従事者団体懇談会への参加
 - 5) 学術連携委員会の開催
 - 6) 政策提言に向けた他学会及び団体との今後の連携の検討
9. 広報活動
 - 1) ニュースレターの発行
年 3 回のニュースレターの発行(第 88 号、89 号、90 号)
 - 2) 学会ホームページの運用
 - 3) SNS を活用した広報活動の継続(Facebook、Twitter のアカウント管理)
 - 4) 広報・情報委員会の開催
10. 社会貢献活動
 - 1) 精神保健看護学の社会還元
非会員向け WEB コンテンツの検討
 - 2) 医療事故調査への協力
 - 3) 精神保健看護学の知識によって社会貢献する活動の整理
市民向け講座の実施に向けた支援
 - 4) 支援者支援に従事する人のための相談支援ガイドラインの活用
11. 災害対策活動
 - 1) 災害対策委員会の開催(1 回は対面会議、他は WEB 会議)
 - 2) 世界防災フォーラムへの参加を行い、学会としての災害時の活動を模索していく。
 - 3) 日本看護系学会協議会の災害連携会議への参加を行う。
 - 4) 大規模災害時における会費減免ならびにコンサルテーション活動の準備・実施を引き続き行う。
 - 5) 災害・事故時に役立つ情報整備を行いホームページ上へ掲載していく。
 - 6) 被災者兼支援者のこころのケア、被災者兼支援者に対し時期に応じた支援方法の検討
 - 7) 新型コロナウイルスでのスタッフの疲弊／離職に対し個人・組織ができること、マニュアル作成

12. 倫理・利益相反に関する事業
 - 1)利益相反指針の策定
 - 2)研究倫理審査委員会規定の策定
 - 3)学会における倫理的問題の審査方法の検討
 - 4)研究倫理審査の検討
 - 5)倫理的な問題に対する相談窓口の検討

13. 30周年記念事業
 - 1)30周年記念プロジェクト会議の開催
 - 2)30周年記念事業の再検討
 - 3)学会の歩み整備事業への取り組み

14. その他
その他本会の目的を果たすために必要な事業

収支予算書

2020年 4月 1日から2021年 3月31日まで

一般社団法人 日本精神保健看護学会

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	14,504,000	13,349,000	1,155,000
正会員	14,454,000	13,299,000	1,155,000
賛助会員	50,000	50,000	0
事業収益	13,840,000	9,262,000	4,578,000
学会誌等の発行収益	0	300,000	△ 300,000
学術集会の開催収益	12,760,000	8,900,000	3,860,000
研修会等の開催収益	380,000	62,000	318,000
その他事業収益	700,000	0	700,000
雑収益	5,100	315,000	△ 309,900
受取利息	100	5,000	△ 4,900
著作権料	5,000	310,000	△ 305,000
経常収益計	28,349,100	22,926,000	5,423,100
(2) 経常費用			
事業費	20,542,532	15,748,656	4,793,876
学術集会の開催費	12,840,000	8,036,156	4,803,844
臨時雇賃金	160,000	105,000	55,000
会場費	0	10,000	△ 10,000
会議費	1,427,100	280,000	1,147,100
旅費交通費	2,033,800	1,536,000	497,800
通信運搬費	105,000	618,000	△ 513,000
消耗品費	110,000	40,000	70,000
印刷製本費	135,000	3,250,000	△ 3,115,000
諸謝金	290,000	180,000	110,000
委託費	2,800,632	1,189,500	1,611,132
研究助成金	300,000	300,000	0
諸会費	200,000	200,000	0
雑費	141,000	4,000	137,000
管理費	9,201,384	7,277,800	1,923,584
臨時雇賃金	110,000	324,000	△ 214,000
会議費	1,136,300	460,000	676,300
旅費交通費	1,827,700	2,024,800	△ 197,100
通信運搬費	361,234	159,000	202,234
消耗品費	283,000	230,000	53,000
印刷製本費	237,200	230,000	7,200
租税公課	70,000	70,000	0
委託費	4,995,950	3,720,000	1,275,950
諸会費	80,000	0	80,000
雑費	100,000	60,000	40,000
経常費用計	29,743,916	23,026,456	6,717,460
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 1,394,816	△ 100,456	△ 1,294,360
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 1,394,816	△ 100,456	△ 1,294,360
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 1,394,816	△ 100,456	△ 1,294,360
法人税、住民税及び事業税	170,000	170,000	0
当期一般正味財産増減額	△ 1,564,816	△ 270,456	△ 1,294,360
一般正味財産期首残高	21,568,475	21,568,475	0
一般正味財産期末残高	20,003,659	21,298,019	△ 1,294,360
II 正味財産期末残高	20,003,659	21,298,019	△ 1,294,360

日本精神保健看護学会第32回学術集会会長の選出

第32回 学術集会

学術集会会長 荻野 雅 会員

(武蔵野大学 看護学部看護学科 教授、学科長、第3期前期理事)

会期 2022年 日程調整中

会場 検討中

第 11 回(2020 年度)日本精神保健看護学会研究助成金贈呈

研究題目：うつ病者における自殺再企図に至る経験

研究代表者：安達寛人（新潟県立看護大学）

第 31 回学術集会の開催に向けて

- 精神保健の時代をひらく共創造のお誘い -

第 31 回学術集会会長 安保寛明

世界的な感染症への警戒によって、新しい生活様式への対応が迫られている昨今ですが、会員の皆様におかれましても様々な面で工夫や対応を必要としている今年度なのではないかと拝察します。

さて、第 30 回学術集会がオンラインにて会期を終えて間もなくではありますが、第 31 回学術集会のご案内を差し上げたいと存じます。来年の段階でも、人との物理的距離を一定程度持つことが望ましい環境であることが予想されること、デジタルに発表することで閲覧者が自分の都合に合わせて閲覧できるメリットがあることなどを鑑みて、第 31 回学術集会は会場における集合型の開催とオンラインでの開催を組み合わせ準備を進めております。

会期（集合型）・・・2021 年 6 月 5 日（土）～6 日（日）

（WEB 配信，予定）・・・5 月 25 日（火）～6 月 25 日（金）

会場 ……やまぎん県民ホール，山形テルサ（山形県山形市、JR 山形駅から徒歩 3 分）

学術集会テーマ・・・精神保健の時代をひらく共創造

演題募集期間 ……2020 年 12 月中旬から 1 月下旬まで（予定）

事前参加登録期間・・・2020 年 1 月上旬から 5 月下旬まで（予定）

現在、精神保健看護の対象は、疾病や障害を有するといった“人”だけでなく、人とのつながりの喪失の危機といった“機会”を対象と見なすようになってきています。つまり、精神保健看護が援助対象とするのは個人というだけでなく家族や職域や地域と言ったシステムも含み、医学的治療関係の文脈にとどまらずに社会的包摂の基盤として精神保健看護の概念が用いられることを意味します。

つまり、精神保健の時代には精神保健看護の専門家だけで物事を構築するのではなく、当事者や家族や他領域の専門家といった人々とともに精神保健の時代にあった在り方を構築していく必要があります。精神保健看護という研究分野も、他の分野や背景を持つ人々と共創造することでさらに発展していくことでしょう。

2021 年は、この学会が 30 年間という一定の成熟期間を持つに至った時節であるとともに、学術集会が開催される東北地方に関しては、2011 年に東日本大震災によって多くの喪失を経験した地として 10 年を経験した時期にあたります。喪失からの回復にも協働性、すなわち「do with」の概念が必要です。そこで、2021 年の学術集会は、共創造という鍵概念とともに精神保健看護学を社会に貢献する学問領域として再構築する機会にしたいと考えています。物理的距離に依存しない参加も準備して、皆さんとの知的共創造の機会としたいと考えています。

みなさんの、共創造の過程への参加を、お待ちしております。

一般社団法人日本精神保健看護学会
理事長 萱間 真美

厚生労働省からの受託事業の実施について

日頃より学会運営にご協力を頂きまして誠にありがとうございます。

この度、本会は「新型コロナウイルス感染症に対応する障害者施設等の職員のためのサポートガイド作成業務等一式」事業を実施することとなりました。この事業は、本会が公開しております「COVID-19の対応に従事する医療者を組織外から支援する人のための相談支援ガイドライン」を、感染管理の知識提供とともに障害者施設等の職員へのケアに実装するもので、政府が今年度の二次補正予算で実施する「介護分野における効果的な感染防止等の取組支援事業」の、メンタルヘルス支援を担うものです。

実践の質向上委員会、社会貢献委員会、災害対策委員会を中心とし、公募いたしましたところ、参加希望をいただいた3名の代議員のご協力をいただきながら、下記の体制で実施致します。

事業の詳細につきましては、順次公開致します。会員の皆様のご理解・ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

記

1. 事業名：新型コロナウイルス感染症に対応する障害者施設等の職員のためのサポートガイド作成業務等一式
2. 実施期間：2020年9月～2021年3月
3. 実施体制：
 - ・総括 日本精神保健看護学会 理事長 萱間真美（聖路加国際大学 教授）
 - ・取組事例調査の実施 木下康仁（聖路加国際大学 特命教授）
 - ・ガイドラインの作成 安保寛明（山形県立保健医療大学 教授）
 - ・「障害福祉施設及び事業所の従事者のための“リモート版”相談支援ガイドライン」を用いた研修 岡田佳詠（国際医療福祉大学成田看護学部 教授）
 - ・メンタルヘルス相談窓口の設置・運営・普及 宇佐美しおり（四天王寺大学 教授）

以上

（一社）日本精神保健看護学会 事務局
〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1
パレスサイドビル (株)毎日学術フォーラム内
TEL：03-6267-4550 / FAX：03-6267-4555
E-MAIL：maf-japmhn@mynavi.jp

本学会からの事業参加者

事業責任者	
理事長	萱間 真美（聖路加国際大学）
取組事例調査の実施	
理事	船越 明子（神戸市看護大学）
代議員	片岡 三佳（三重大学）
代議員	武用 百子（和歌山県立医科大学）
ガイドラインの作成	
理事 社会貢献委員会委員長	安保 寛明（山形県立保健医療大学）
副理事長	森 千鶴（筑波大学）
社会貢献委員	松枝 美智子（星槎大学大学院）
社会貢献委員	稲垣 晃子（東京大学大学院）
社会貢献委員	高野 歩（東京医科歯科大学大学院）
社会貢献委員	高橋 葉子（山形県立保健医療大学）
社会貢献委員	増満 誠（福岡県立大学）
社会貢献委員	光永 憲香（東北大学大学院）
社会貢献委員	山本 智之（くおーれ訪問看護ステーション）
代議員	武用 百子（和歌山県立医科大学）
「障害福祉施設及び事業所の従事者のための“リモート版”相談支援ガイドライン」を用いた研修	
理事 実践の質向上委員会委員長	岡田 佳詠（国際医療福祉大学成田看護学部）
理事	宮本 有紀（東京大学大学院）
理事	寺岡 征太郎（和洋女子大学）
理事	岡本 典子（常葉大学）
実践の質向上委員	根本 友見（国際医療福祉大学成田看護学部）
実践の質向上委員	天野 敏江（国際医療福祉大学成田看護学部）
代議員	三木 明子（関西医科大学）
メンタルヘルス相談窓口の設置・運営・普及	
理事 災害対策委員会委員長	宇佐美 しおり（四天王寺大学）
理事	寺岡 征太郎（和洋女子大学）
災害対策委員	石飛 マリコ（日本赤十字九州国際看護大学）
災害対策委員	川田 陽子（四天王寺大学）
災害対策委員	鴫田 百合子（東北大学病院）